



PRESS RELEASE (2012/07/20)

文部科学省の「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」事業に採択

概要

このたび、文部科学省が実施する平成24年度「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」事業に、九州大学学術研究推進支援機構の提案したリサーチ・アドミニストレーターに関する取り組みが採択されました。

背景

文部科学省は、今年の2月に、「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」(リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備)の公募を開始しました。

これは、「大学等が、研究開発に知見のある人材等をリサーチ・アドミニストレーター(以下「URA」という。)として活用・育成するとともに、専門性の高い職種として定着を図ることをもって、大学等における研究推進体制・機能の充実強化に資することを目的としており、応募対象として、3つの事業タイプ(「世界的研究拠点整備」、「専門分野強化」及び「地域貢献・産学官連携強化」)が設定され、本学は「世界的研究拠点整備」に応募し、平成24年6月14日付けで採択されました。

今回、世界的研究拠点整備には、本学以外は北海道大学、筑波大学、大阪大学が採択されました。

文部科学省からは、原則3年(初年時5,850万円)の補助金を受け、URAを活用・育成するとともに、専門性の高い職種として定着を図ります。

内容等

本学では、平成23年4月に、「学術研究推進支援機構」を設置し、研究担当理事が機構長となり、研究戦略企画部門、産学官連携部門、事務支援部門の3つの部門で構成され、研究戦略の企画立案、研究プロジェクトの管理運営、産学官連携、知的財産の管理及び活用、研究関連事務支援等を一体的に担い、本学の高度な学術研究活動を効率的に推進支援しています。

今回の提案は、本事業により、研究支援の中核となる学術研究推進支援機構にURAを配置することによって、プレアワード機能の充実を図り、研究活動の活性化と世界的拠点の形成を行います。

本事業には、3つの特徴があります。

1. URAを配置することにより、基礎研究から産業界への橋渡しまでカバーし、分野横断的な研究システム改革プログラムへの支援を可能とします。
2. 広範なスキルを実地体験により獲得し、多様な場で創造的成果を生み出す能力の啓発を行います。
3. URAのキャリアアップのシステムを構築します。

URA組織を本学の研究活動の基幹組織として継続し、第3の職として、URA雇用制度に基づき安定的にURAを雇用します。なお、この雇用制度は平成26年度までに構築する予定です。

このように、本事業を活用することでURAを雇用・育成し、専門家集団として定着させることで、本学の研究・企画支援機能の一層の強化・高度化を目指します。特に、本機構に新規にプレアワードを中心に担当するURAを配置し、戦略的な研究を実施する体制を強化し、大型プロジェクト研究を数多く獲得するとともに、あわせて補助事業終了後も持続可能なURAを育成・確保するシステムを構築します。

【お問い合わせ】

企画部学術研究推進課 森 勇造
電話：092-642-2126
FAX：092-642-7090
Mail：gigkikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp